

第三者評価の受審実績	平成 22 年度、平成 24 年度		
取材の対象年度	平成 24 年度	評価手法	標準の第三者評価

【取材メモ】



取材の視点

- ・第三者評価受審の目的、経緯
- ・事業評価(自己評価)のプロセスで得られた気づき
- ・利用者調査、職員の自己評価及び評価機関による評価の結果から得られた気づき
- ・改善に向けた取り組みとその成果、など

■改善の取り組みとその成果②～職員の自己評価から問題が明らかになったパソコンの増設

職員による自己評価においては、職員全員に評価機関が用意した自己評価シートを配り、その結果を各自が評価機関に提出しています。評価機関からは、共通評価項目に関する評点の集計のほか、職員が自由記述欄に記載したコメントを集約した結果が報告されています。所長の話では、日頃の職員会議等を通じてすでに把握している声もあれば、必ずしもそうではない意見も含まれており、第三者が介在する意義を感じていると言います。

自己評価における職員の意見が実際に改善につながったわかりやすい事例としては、事務所内のパソコンの増設があげられます。当事業所では、利用者に対する支援経過の記録等を取り扱うパソコンについては、個人情報の外部流出を防ぐためにインターネット回線に接続しない状態で使用しています。地域包括支援センター等の関係機関とインターネットメールで通信するためのパソコンは数が足りず、業務に支障をきたしているとの声を受け、担当者に状況を確認したうえで、すぐにパソコンを購入したとのこと。そうした決裁は所長が迅速に行い、スピーディーな問題解決を図っています。